

2024

NANAKAMADO

Junior Chamber International ASAHIKAWA 2024



旭川観光大使

Sizuk Entertainment
LarmeR
坂口 渚沙



れっか!!
れっか!!



国際交流!



高校生と旭川の未来を
ディスカッション!!

特別対談

旭川観光大使 坂口 渚沙
Sizuk Entertainment LarmeR

×

第74代旭川青年会議所理事長 北崎 悌綱



Wooo!!

ナナカマド

- 委員会紹介
- 活動の軌跡



一般社団法人 旭川青年会議所
令和6年度広報誌
令和6年11月18日発行



Sizuk Entertainment LarmerR

坂口 渚沙



第74代旭川青年会議所理事長

北崎 悌綱

特別対談

「烈夏」の一体感に、誇りと郷土愛をこめて

人とつながり、そしてJC

坂口:私の感覚かもしれませんが、旭川は人と人とのつながりを大事にしてるまち、という風にすごく感じています。東京にいと、近所付き合いとか、人とのつながりがほぼないんです。でも地元に戻ってくると、「帰って来たんだね」とか言ってくださって、挨拶を気軽にし合えるので嬉しくなりますね。旭川青年会議所は何を目指している組織ですか。

北崎:旭川青年会議所の目的は、「明るい豊かな社会の実現と創造」と「地域の魅力を推しあげること」。まちの課題を考え、それを実践したり、また市政に問題を投げかけるという活動をしています。代表的なのは烈夏七夕まつりで、旭川を代表する祭りとして、取り組んでいます。坂口さんは、旭川の良さというと、どんなことをお感じですか。

旭川の良さとは

坂口:仕事でいろいろな地域に行くことがあるんですが、旭川には、景色の綺麗なところに、休憩スポットのような場所が結構いっぱいあるんです。帰ってきたらそういう場所に行って、椅子に座って景色を眺めてたりするのが好きですね。癒しになります。

北崎:旭川の誇りに思うポイントって、

地震がないとか、災害が少ないっていうところが良いと言われていますが、旭川の外から来た人は、案外自然の豊かさが素晴らしいとか、私たちが普段当たり前過ぎて気にも留めないことが、向こうの方達にはすごく魅力に感じているということをお聞きます。



烈夏七夕まつり

北崎:坂口さんは、昨年烈夏七夕まつりに参加されていたがどうか。

坂口:烈夏七夕まつりは、本当に熱気を感じるいいイベントだと思ってます。今までは見る側でしたが、自分が出演させていただく、しかも山車に乗れるというのが本当に夢みたいなお話でした。山車に

乗って皆さんを見ていると、家の中から見ている人もいれば、椅子を用意して、路上でパレードを見ている人もいます。旭川がすごい盛り上がりしている景色を違う視点から見られて、自分自身すごく嬉しくなりました。

北崎:烈夏七夕まつりは、先ほど言った通り、旭川を代表するお祭りで、小さい子が

ら大人まで参加したり、見にきたりする中で、市民が一体となる姿を体現していると思います。だからこそ、そうしたところから郷土愛を醸成していくのが大事じゃないかなと考えてます。青森とか東京などのお祭りは何かの祈願が原点にありますが、烈夏は本当に市民がゼロからみんなで作り上げるお祭りですのもっと可能性がある。旭川から出た人が、烈夏のために戻ってくる、と言われるくらいのイベントになっていけば、ものすごく格好いいなと思います。



旭川の可能性は…

坂口:烈夏七夕まつりもそうですが、みんなで作るぞ、っていう感じの熱意を持って、盛り上げている感じがすごいです。一致団結している良さがあるので、それが活性化につながっていくような気がします。

北崎:北海道は、都道府県の魅力度ランキングで16年連続1位なんです。中でも、札幌、函館、小樽、富良野は、市町村ランキングでも10位以内に入っているんですけど、旭川市は残念ながら、30位から40位なんです。私はそこが課題だなと思っています。旭川や近郊市町村には、アピールしきれていない観光資源がまだまだあるので、そういったものを活かして、観光を伸ばしていきたいですね。今、旭川空港には、台湾との直行便、更に12月から韓国の仁川空港と直行便ができますので、インバウンドの獲得も期待できると思います。

JCへの期待

北崎:旭川青年会議所は、単年度制で毎年理事長や副理事長ほか構成メンバーが変わっていきませんが、やることはその時代の最先端のまちづくりを目指しています。これからも明るい豊かな社会の創造に向けて邁進してゆきたいと思っています。

坂口:旭川青年会議所の皆さんには、ハングリー精神を感じるというか、負けなぞという気持ちこそすごく感じて、本当に旭川のことを好きなんだなというのがすごく伝わってきます。皆さんの活躍で今後の旭川がどう変わっていくか、一人の旭川市民としてもすごく楽しみだなと思っています。

頑張れ!坂口渚沙さん

北崎:坂口さんは、日頃から大活躍されていて、私たち市民としては本当に旭川を

代表する方だなという風に認識しています。これからもさらに認知度を高めて旭川をPRしていただき、もっと旭川に人を呼び込んだり、住んでもらうことに貢献していただけたらと思います。

坂口:私も旭川出身として、何か旭川に恩返しできるように、これからも芸能活動でどうしたら地元の人を呼べるかというのを第一に考えて活動していきたいなと思っています。

北崎:本日は本当にありがとうございます。今後の活躍をご期待しています。



坂口 渚沙 (さかぐち なぎさ、2000年12月23日生まれ)

2000年生まれ。北海道旭川市出身。

Sizuk Entertainment所属アイドルグループLarmeRのメンバー。愛称は「なぎ」。2019年に旭川観光大使、2020年に北海道観光大使に就任するなど、北海道の魅力のPRに向けて幅広く活躍中。2024年は「第34回 烈夏七夕まつり」にゲスト出演。

旭川青年会議所国際交流



タイのチョンブリはパタヤが含まれ、リゾート都市として多くの観光客を集めています。チョンブリJCは40名所属しており、全員女性メンバーで構成されています。数回の交流を経て、6月にzoomでの交流例会、8月には烈夏七夕まつりにも参加いただきました。また11月にはチョンブリに訪問し親交を深めました！



チョンブリJCフォン理事長に聞いてみた！

フォン理事長から見たJCとは どのような組織ですか？

JCは、私たちが常に進歩するために自分自身を成長させ、その可能性を地域社会に還元できるように訓練する組織です。私たちだけでは地域社会を大きく変えることはできませんが、JCは私たちが良きリーダーとなり、良きフォロワーとなり、他者と効果的に協働することに重点を置いています。



本年は烈夏七夕まつりに参加 いただきましたがいかがでしたか？

旭川で参加した烈夏七夕まつりではチョンブリメンバーを案内して、雰囲気や働き方を見学させていただいたことはとても光栄でした。旭川青年会議所のメンバーによって企画された素晴らしいお祭りに加え、皆さんから指針や活動方法を学びました。私は他の支部の模範として、実行委員会メンバーを賞賛するモデルと方法をタイJCに提案しました。

フォンさんは今後どのような JC活動を予定されていますか？

来年度、タイ国内理事会の事務局長に就任し、タイJCの発展に貢献できることを嬉しく思います。また、チョンブリJCの初代理事長としてその活動を支援し、恵まれない子供たちの支援プロジェクトを継続しさらに、多国籍のJCメンバーとの交流を協議し、強力なコミュニティづくりのための提案やアイデアを考えていきたいと考えています。





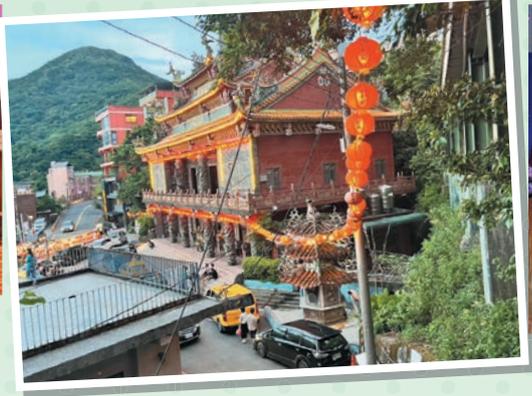
JCの4つの機会のうちの1つに国際の機会があります。

国際交流は異なる習慣や文化を直接体験し、世界中の仲間と相互理解、協力の促進に寄与することができます。旭川青年会議所も今から23年前に我々の偉大な諸先輩が台湾の鶯歌青年会議所との友好をスタート。毎年鶯歌青年会議所の国際会議と創立記念式典に招待され参加しております。韓国とマレーシアのJCから参加もあり、国際会議ではそれぞれの組織の規模、行っている事業、今後の展望などを情報共有し互いのまちづくりへの貢献を学んできました。本年43周



年となる創立記念式典には台湾全土の青年会議所からメンバーが駆けつけ盛大に開催されました。鶯歌青年会議所メンバーをはじめ、台湾の方々はとても友好的で優しく、常に積極的にコミュニケーションに来てくださり、異国の地でありながら母国にいるような感覚でした。23年

間紡いできた絆は年々強くなっています。今後もお互いの青年会議所の発展に寄与できるよう新たな1歩に向けて踏み出そうと誓いあいました。



個人の機会
Leadership development

地域社会の機会
Community development

JCの4つの機会
Areas of Opportunity

国際性の機会
International

ビジネスの機会
Business

2024

POLICY MANIFESTO

2024 旭川青年会議所 委員会活動



01

三 役

理事長 / 北崎 悌綱

02

まつり事務局

事務局長 / 奈良岡 美咲

03

人財委員会

委員長 / 荻野 匡史

04

広報渉外委員会

委員長 / 大野 史聖

05

まちの未来創造委員会

委員長 / 立石 大直

06

ヒカリ輝く未来創生委員会

委員長 / 上野 龍哉

07

総務委員会

委員長 / 谷川 虎太郎

08

公益社団法人日本青年会議所
北海道地区協議会

09

一年間の軌跡

10

その他の活動

01 三 役

理事長／北崎 悌綱



青年会議所は「修練」「奉仕」「友情」の三信条のもと、明るい豊かな社会の創造を目指し運動を展開しております。本年は「不易流行」というスローガンを掲げ、まちの課題やJCの組織運営に対し、変える必要のあるもの、変えてはならないものを明確にしていきました。具体的には、まちの課題への調査研

究、解決のための企画立案、実行評価したものを行政に提言、烈夏七夕まつり、冬まつり支援事業、青少年育成事業、会員の資質向上および自己成長のための事業、国際交流事業など様々なことにチャレンジしています。それぞれの事業を行うために委員会を設け、担当ごとに運動を展開してもらって

ます。私たち三役は青年会議所の運動がまちや市民のためになるように、委員会の運動展開のサポートや他の委員会との繋がりの強化助言を行っています。これからもわがまち旭川が明るい豊かな社会になるために、より多くの市民の皆様の役に立つことが出来るように一歩ずつ前に進んでいきます。

□副理事長／筒井 和騎・佐々木 聖・中保 翔太 □専務理事／横内 浩平

02 まつり事務局

事務局長／奈良岡 美咲



2024年度のまつり事務局は、賑わいの創出による郷土愛の醸成と地域活性化のため、新たな挑戦と市民を巻き込む事業が必要だと考えました。第34回を迎えた烈夏七夕まつりでは、後世へと語り継がれる事業を目指し、子供や在日外国人、市民ボランティアの参加推進と共に、アーティストの出演を通し

て幅広い世代へのアプローチを行いました。当日は伝統的な山車・太鼓・踊りに加え、多くの市民と創り上げるまつりとして、観客と一体となり貴重な経験と感動を得られる事業であったと考えます。また、11月例会として迎冬横丁in旭川を実施する予定でありましたが、悪天候のため残念ながら中止となりま

した。しかし、共催していただいた北海道料理飲食業生活衛生同業組合との関係構築ができ、今後の事業において協力していくことも可能と考えます。次年度も引き続き旭川市の賑わいの創出に真摯に向き合い、より良い変化をもたらす事業を展開していきたいと考えます。

委員会メンバー

□副局長／藤井 裕万・伊藤 圭吾・山崎 五良
□局員／工藤 貴弘・坂下 翼・藤兼 大和・梅津 利弥・清水 健史

03 人財委員会

委員長／荻野 匡史



我々、人財委員会は会員拡大を主とした活動を行ってきました。年4回の異業種交流会を行うことで当初新会員1名から12名まで拡大することができました。会員拡大の中には入会後の新会員への礼節やマナーを伝えるとともに、本年度理事長所信にも掲げている「楽しさ」を伝えられるよう

委員会全員で環境を整えて参りました。新入会員は他地区の新入会員と事業を設えるアカデミー研修塾という場が設けられており、旭川の新会員のみではなく、道北地区の新入会員と学ぶことの重要性と交流を深めることができました。そして入会後の集大成として設えた新会員例会では、新入

会員が結束力を高め、旭川の魅力を現役メンバーへ再認識していただくとともに、学びの場を提供していただいた旭川青年会議所メンバーへ一年間の感謝の思いを込めた例会を設えることができました。今後も人財委員会は明るい社会の実現へ向けて会員拡大を継続していきます。

委員会メンバー

- 副委員長／嶋田 健児・蜂谷 翔太・杉村 凜太郎
- 委員／佐々木 雄大・野村 晋也・奥山 雄太郎・大野 辰之伸

新会員メンバー

- 会長／植平 幸介
- 会員／池本 ののか・美馬 康宏・栗田 千裕・本田 吉孝・齋藤 寛幸
荒井 祐貴子・後藤 朋美・増淵 雄介・尾崎 堅・菊池 梨那・寺田 健一

04 広報渉外委員会

委員長／大野 史聖



2024年度の広報渉外員会では、旭川青年会議所の活動を多くの方々に知っていただくため、FacebookやInstagramなどのSNSを主に活用し広報活動を行って参りました。昨年度に引き続き烈夏七夕まつりのインスタライブ配信やYouTubeでの例会LIVE配信をしました。また、例会の紹介やス

トーリーの投稿にハッシュタグなどをつけ投稿することでリアクションをいただくことができましたと感じております。今年度の広報誌では、今まで以上に皆様の目に留まりやすく、手に取っていただけるようデザインや内容にこだわりました。さらに、旭川観光大使である坂口渚沙氏との対談や、チョンブリJC・

鶯歌JCなどの海外の青年会議所との交流について紹介させていただき、様々な方々との友好を深められた年になりました。今後も国内外問わず交流を行っていき、より多くの方の目に入るような広報活動ができるよう引継ぎ、新たな挑戦に向かって行きたいです。

委員会メンバー

- 副委員長／春木 真樹・佐々木 詢・金 太一
- 委員／秋山 智史・林 祐作／原淵 輝・佐々木 泰宏

05 まちの未来創造委員会

委員長／立石 大直



まちの未来創造委員会は明るい豊かなまちづくりの実現に目標を向け、市民と行政の橋渡しを行い、このまちを想う行動が皆に伝わり今後旭川への魅力も増え、今以上にまちの成長、発展にも繋がると考え運動してまいりました。まちの未来創造委員会での第一例会では、旭川青年会議所メンバーと旭川の食に関する議論を行い、第二例会の市長例会に

向けて様々な意見出し合う、グループワーク型の例会を開催致しました。その中で旭川の食、買物公園の利活用について様々な意見が抽出され我々委員会メンバーで厳選した内容を市長例会にて旭川市長今津寛介様とトークセッションをさせていただき、今後の展望やわれわれ青年経済人が取り組んでいかなければならない課題などを抽出する例会

を設えることができました。残念な結果となりましたが、最終例会は雨天の為開催に至りませんでした。しかし、最終例会に向けた議案の作りこみでのたくさんの調査研究内容、屋外例会の課題をメンバー全員で共有し次年度へ向けて引継ぎしていきます。そして、わたしたちは今後も青年経済人として、志を高くこの街に寄与していきます。

委員会メンバー

- 副委員長／東堂 直樹・桑野 紗耶加・及川 雄太
- 委員／河井 敏成・馬場 智章・渡邊 涼太

06 ヒカリ輝く未来創生委員会

委員長／上野 龍哉



2024年度、ヒカリ輝く未来創生委員会では、次代を担う青少年が健やかに成長できる環境とコミュニティの創出を最優先課題とし、様々な活動に取り組んで参りました。冬まつり支援事業の実施、高校生主体の討論型イベントの実施、郷土愛の醸成を目的とした秋の味覚事業の企画運営と実施を青少年

と共に行いました。冬まつり支援事業では地域の皆様への感謝を込め、青少年が社会とのつながりを深められる場を目指しました。討論型事業では、若者が積極的に意見を交わり、自己成長を促す場を提供し、楽しく有意義な時間となるよう工夫しました。地域創生と郷土愛の醸成を目的とした事業では、

秋の味覚である米や野菜について青少年が自ら研究し、来場者の皆様に旭川の良さを伝え青少年の友情と絆が深まる様子を見届けました。今後も、青少年が地域発展に貢献する一助となるよう支え、まちの発展に旭川青年会議所メンバーとして取り組んで参ります。

委員会メンバー

- 副委員長／佐々木 陸・菅野 準・中本 吉彦
- 委員／川村 健太・梶 未来・飯豊 育民・遠藤 健晃・林 広大

07 総務委員会

委員長／谷川 虎太郎



2024年度総務委員会では、各委員会が実施する様々な運動に、より専心できる環境の整備を最重点に置き、活動して参りました。本年も例年に倣い①総会・理事会の運営、②新年交礼会の運営、③74周年記念式典・祝賀会の運営を実施しております。総会・理事会の運営、特に理事会の運営に際しては、純

粋な意見交換の場として機能する環境づくりに注力し、楽しく、有意義な時間となる様努めました。新年交礼会の運営においては、ご来場いただく皆様へ日頃の感謝をお伝えし、今後とも当会議所へのご高配をお願い申し上げます。74周年記念式典・祝賀会は、シニアク

ラブ先輩諸兄姉との闊達な交流の場となる様、鋭意準備を進めております。加えて、本年は温泉親睦事業を担当し、会員相互の紐帯を強められるよう企画・運営いたしました。旭川青年会議所が一致して我がまち旭川の振興と隆盛に寄与して参れるよう、引き続き活動して参ります。

委員会メンバー 副委員長／吉田 有希・湯野 永知・渡辺 康介
委員／遠山 優太・野畑 健太郎・泉澤 卓也

08 北海道地区協議会

副会長／清水 健史



旭川青年会議所は、旭川及びその周辺地域を活動エリアとして、社会の課題を解決して持続可能な明るい豊かな社会を創り、リーダーシップをはじめとするメンバーの成長を目的に活動しております。しかし、このような活動をしている「青年会議所」は、旭川だけにあるのではなく、日本全国に現在約670の「青年会議所」

があり、そのメンバーは全部で約25,000人います。そこで、日本全体に対する動きかけをしたり、各地の青年会議所に対する援助をしたりすることを目的に、「日本青年会議所」という総合調整機関がつけられ、そのいわば北海道支部である「北海道地区協議会」という機関が置かれています。旭川青年会議所からも日本

青年会議所や、北海道地区協議会で活躍するメンバーもおり、全国・全道を舞台に日々活躍しています。全国・全道に行けばより大きな課題を扱うこともあり、より多くの青年会議所メンバーと切磋琢磨して友情を得ることもできます。

出向者一覧

- ◆道北エリア運営会議 □副議長／佐々木 聖
- 議員／大野 辰之伸・荻野 匡史
- 佐々木 雄大・杉村 凜太郎
- ◆地区大会運営会議 □委員／飯豊 育民
- ◆国土強靱化委員会 □委員／及川 雄太・桑野 紗耶加
- ◆JCブランディング委員会 □委員／佐々木 詢・中本 吉彦
- ◆地域活性化委員会 □委員／伊藤 圭吾・中保 翔太
- 野村 晋也
- ◆国際委員会 □副委員長／蜂谷 翔太 □委員／嶋田 健児
- ◆総務運営委員会 □委員／東堂 直樹・藤井 裕万
- ◆地域未来創造委員会 □委員／佐々木 陸・筒井 和騎・林 祐作
- 吉田 有希・渡辺 康介

09 一年間の軌跡

- 1月第一例会 「新年定時総会・新年交礼会」(総務委員会)
「卒業生を送る夕べ」(広報渉外委員会)
- 2月第一例会 「冬まつり支援事業「ヒカリ輝け!Snow Town in Tokiwa2024」
(ヒカリ輝く未来創生委員会)
- 3月第一例会 「新会員仮配属式」(人財委員会)
- 3月親睦事業 「Who'll wake you go!(不易流行) みんなの絆で辰立つタツ!今宵、湯けむりと
情熱ムンムンの宴が始まるPART II」(総務委員会)
- 4月第一例会 「グルメタウン旭川とは…」(まちの未来創造委員会)
- 4月第二例会 「異業種交流会」(人財委員会)
- 5月第一例会 「遊んで学んで絆を深める!HOKKAIDOファミリーフェスティバル!」(広報渉外委員会)
- 6月第一例会 「国際交流の機会～JCを通じた国際交流～」(三役)
- 7月第一例会 「2024年度臨時総会」(総務委員会)
- 8月第一例会 「第34回烈夏七夕まつり ～伝統の輝き×革新の煌めき～」(まつり事務局)
- 8月第二例会 「旭川ミライサミット～Youth, be ambitious～」(ヒカリ輝く未来創生委員会)
- 8月第三例会 「市長と根こそぎ話さナイト」(まちの未来創造委員会)
- 9月第一例会 「Believe in Nexus～青年会議所の発展と共有」(広報渉外委員会)
- 9月第二例会 「2024年度定時総会」(総務委員会)
- 10月第一例会 「異業種交流会」(人財委員会)
- 11月第一例会 「来たる冬を盛り上げよう!「迎冬」横丁in旭川」(まつり事務局)
- 11月第一例会 「ASAHIKAWA TEENS EXPO」(ヒカリ輝く未来創生委員会)
- 11月第一例会 「グルメストリート総合案内計画」(まちの未来創造委員会)
- 11月第二例会 「地域経済活性化への意識改革～未来の旭川のために～」(人財委員会・新会委員)
- 11月第三例会 「創立74周年記念式典・祝賀会」(総務委員会)
- 11月第四例会 「1984(イクワヨ)荻ネズミ14～感謝を込めてみんなでイクワヨ」(卒業生)
- 12月第一例会 「意気込み例会」(次年度三役)
- 12月第二例会 「忘年会例会」(まつり事務局)



10 その他の活動



北海道JCリーグにて優勝

旭川青年会議所では、
普段の活動の他に、
各種ボランティアや、
野球やサッカーなどを通じて
メンバーとの懇親を深めています。



雪だるま制作
ボランティア活動



(一社)札幌青年会議所
札幌オールスターズとの
野球交流試合



綱引き大会に参加

Member recruitment JCI

私たちと一緒に活動しませんか？

旭川青年会議所は会員を募集しております。



綱引フェスティバルにて



チョンブリJCFオン理事長と



烈夏を楽しむ市民の皆様

青年会議所

「Junior Chamber International」とは国籍、人種、性別、職業、宗教の区別なく20歳(旭川JCIでは25歳)から40歳までの志の高い青年経済人によって構成されています。「修練」「奉仕」「友情」という三信条を掲げ率先して行動する仲間たちで運動しています。

JCIは大きな可能性に向けての自己の成長と発展の場です。

他では得られない信頼関係と真の友情を育みながら、私たちのまち旭川の未来をつくりあげて行きませんか？

きっとあなたの将来に大きな可能性を見出してくれます。



第75代旭川青年会議所理事長
筒井 和騎 君

2025年度スローガン

Pay it forward. ~次代への恩送り~

pay it forward. とは恩送りと訳されます。

良い先輩に恵まれた私は何かと面倒を見ていただく機会がありました。私が何かお返ししたいと伝えると皆さん共通しておっしゃるのは「返さなくていいから困っている後輩がいたら力になってあげて欲しい。」でした。この例はマイクロな話ですが、マクロに捉えると我々様々な社会課題はあるものの快適な生活を送ることができる環境に感謝をすることができます。感謝を胸に次代への恩送りとなる運動に邁進します。

25年度三役から

ここまで本誌をお読みいただけているのはどのような方でしょうか？青年会議所の会員、シニアクラブの諸先輩方、日頃よりまちづくりでご理解ご協力をいただいている関係者の皆様、入会を検討されている方、または会員のご家族や従業員の方でしょうか。いつも我々に機会を与えてくださり、ありがとうございます。2025年、旭川青年会議所は創立75周年を迎えます。また、当会議所が主催する一大事業である烈夏七夕まつりにおきましても同年、35回目を数えます。様々な節目の年となりますが、2024年度のスローガンである不易流行の精神を引き継ぎ、変



副理事長
大野 史聖 君



副理事長
中本 吉彦 君



副理事長
及川 雄太 君



専務理事
横内 浩平 君

えてはならないものと変えてよいもの、むしろ変えなければならないこと見定めながら、まちが本気で良くなるためには何が必要かを議論し、行動に移して参ります。皆さんはどのようなまちの未来を描いていますか？私たちは、大切な人が明るく過ごす明るい旭川の創造に向けて日々実直に運動します。同じ志を持つ皆さま、関わり方は様々です。共に創造しましょう！

広報誌ナナカマドの由来

1964年、旭川青年会議所は、緑橋通りの緑化運動を行い、ナナカマドを植樹しました。ナナカマドの木は、現在ではイルミネーションで美しく飾られ、緑橋通りの象徴となっていますが植樹が契機となり、1976年ナナカマドが「旭川の木」と認定されました。以上のことからナナカマドは旭川青年会議所の歴史を作った木でもあり、広報誌の名前も「ナナカマド」となりました。

〈お問い合わせ先〉平日10:00~17:00まで
TEL0166-22-9815

旭川JCI 検索
https://www.asahikawa-jc.or.jp



公式WEBサイト 公式facebook 公式Instagram
※過去の広報誌はWEBサイトより